

第6次総合計画基本計画の見直しについて①

昨年度の審議会において、委員の皆さまより様々なご意見をいただいたところですが、その中でも施策の見直しに関する7つのご意見に対して、笠松町第6次総合計画策定・推進本部会議にて協議をしましたので、その結果を下表のとおりご報告させていただきます。

No.	基本方向	施策名	指標番号	指標項目	R4年度第1回総合計画審議会委員よりいただいたご意見	「第6次総合計画策定・推進本部会議」での協議結果（R5.12.1実施）	総合計画該当頁
1	基本方向1 ぬくもりと笑顔あふれる思いやりのまち	施策(5) 子ども・子育て支援、幼児教育の推進	指標20	地域子育て支援拠点(こども館)利用者数(人)	「小中学生の居場所づくり」としての活用状況を紹介し、広報活動を盛んにする必要がある。また、「子ども権利条例」の視点で検証してはどうか。	下記内容について、基本計画に盛り込むものとする。 ・環境の変化に柔軟に対応する。 ・こども館に親子でふらっと気軽に立ち寄れるような事業の取組をPRする。 ・子ども権利条例は子どもに限ったことではなく、保護者としての交流の場所としても兼ねています。  →以上の内容を、別紙「基本計画(抜粋)」にて修正しました。	38・39
2	基本方向2 未来へ繋ぐ心豊かな人づくりのまち	施策(1) 学校教育の充実	指標24	中学校卒業時の英検3級合格者数の割合(%)	①英語が必要とされていることを授業で周知し、ソフト面の施策が必要である。また、プリント学習ではなく、現代的な項目に変更してはどうか。	・「国際理解教育＝英語」となっているため、多言語・多文化の受入を検討したかどうか。 ・世界で活躍したり、外国人との交流の中では英語力が重要なツールであるため、力を入れていく。 ・SDGsに沿った形の方が、今の時代に即している。  →以上の内容を、別紙「基本計画(抜粋)」にて修正しました。	42・43
					②指標を英検3級だけではなく、英検すべての級としてはどうか。	指標については、英検1級～準2級を含めた「英検3級以上」の合格者を含めた割合としています。英検3級は「中学卒業程度」かつ「身近な英語を理解し、使用できる」レベルとされていますので、中学校卒業時の英語教育充実の指標は、 <b>現行の3級以上合格者割合とすることが妥当である</b> と考えます。	
3	基本方向2 未来へ繋ぐ心豊かな人づくりのまち	施策(3) 生涯学習の充実	指標30	図書室利用者数	図書館の利用をデジタル化し、岐阜市図書館と連携してはどうか。	町において岐阜市との連携に関して費用対効果等のメリットが見出せなかったため、引き続き <b>現行通り運用</b> していきます。	45
4	基本方向2 未来へ繋ぐ心豊かな人づくりのまち	施策(5) 歴史・文化の継承と活用	指標34	笠松力検定(ビギナー検定)合格率	子供たちのために、笠松力検定の内容に合致した「歴史探訪」を実施してはどうか。	・“歴史探訪”に特化するのではなく、ふるさとの歴史や文化に子どもたちが興味を持ってもらうような授業を展開する。 ・お奴・芭蕉踊り・町内の祭りに参加してもらえるような仕組み作りを構築する。  →上記の内容を各学校と連携しながら進めていきます。	47
5	基本方向2 未来へ繋ぐ心豊かな人づくりのまち	<b>新規指標のご提案</b>			児童生徒の安全面から「見守り隊」に関する指標を検討してはどうか。	・善意で実施していることに対して、 <b>数値化はできない</b> と判断しました。	42・43
6	基本方向3 にぎわいと活力あふれる創造のまち	施策(3) にぎわいと活力あふれる創造のまち	指標40	SNSによる情報発信件数(件)	防災無線も日中は誰も家にはいない家庭が多く、効果はどうか。	・令和5年12月末をもって、防災行政無線放送の定時放送を終了としました。 ・今後の情報媒体として、 <b>SNSによる情報発信へ切り替えます</b> 。	52・53
7	基本方向6 「官」「民」協働で築き上げる持続可能なまち	施策(1) 住民参加によるまちづくりの推進	指標58	町ホームページアクセス数(回)	アクセス数が15万人に対して、指標39の観光イベント情報閲覧者数が5千人と非常に少ない。どのページの閲覧者数が多いのか検証するとまちづくりの参考になるのではないかと。	・ユーザーは、情報取得のためにSNSとHPを使い分けをしていると考えられます。 ・そのため、発信側は、 <b>SNSとHPの発信内容について精査が必要と考えます</b> 。  (発信内容) 【SNS】…口コミ・写真の掲載を中心とする。そこから、町HPへ誘導する。 【HP】…会場までのアクセス方法・料金・駐車場等の基本情報を掲載する。	68